

熊野町のいしぶみとたぐねて 第2回

とんた きんいちろう
～富田 謹一郎氏の書～



富田氏の屋敷内にある石碑（新宮）
形状・高さ190cm、幅95cm、奥行11cm



富田氏の書による胡子神社標柱（宗盛医院隣）
形状・高さ238cm、幅24cm、奥行24cm



富田氏の書（光教坊山号）
形状・高さ72cm、幅152cm



竹に彫られた富田氏の書（藤河氏所蔵）
形状・高さ90cm、幅12cm



▲富田氏の墓（新宮）

富田謹一郎氏（1851年～1927年）は、明治～大正時代に町内で開業していた医師で、その当時の善行は、今も残る屋敷内の石碑に次のように刻まれています。

「（富田）翁は仁慈・清廉の人だった。医者として貧しい人には、診療代、薬代を受け取らず、少しも嫌な顔はしなかった。軍隊には湯茶で十分に行き届いた接待をした。また彫刻が上手で竹、木に経書等を彫り、自ら楽しんで什器として大切にしていたが、他人から求められれば惜しげもなく差し上げていた。これも天から受けた性質である。」

「医は仁術なり」という言葉からも、富田氏の人を慈しみ、思いやりにあふれた人柄が偲ばれます。

取材 民法・時光・片川・沖田

時光議員

町内小中学校プール



▲劣化が進む第二小プール

第二小プールは対策をとりたい（藤森教育部長）

Q 第二小プールで相当数の子供が足や手の指をすりむくと聞いた。改善策は考えているのか。また、中学校の水泳の授業をやめた理由は。

A 第二小プールでは、以前から足の裏の皮がむけるなどの事例が多く発生している。原因はコンクリートの劣化が進行したためと考えられ、早急に対策をとりたい。中学校では、ろ過器等の故障により、両校ともやむを得ずプールの使用を休止している。水泳指導に関しては、小学校までに基本的な指導を終了していること、中学校では指導する時間が少ないことから、当面は安全に関する指導を行うこととした。今後は、プールの修理費用を調査し、慎重に検討したい。

議会・委員会活動等紹介

熊野町功労表彰を受賞



渡 紘八 議員

10月3日、熊野町役場にて、町議会議員として12年以上の功労に対し、渡議員が町の功労者表彰を受賞された。

広島県町議会議員研修会

8月25日「広島県町議会議員研修会」が広島市内で開催され、多数の議員が参加した。

法政大学法学部教授の廣瀬克哉氏による「自治体議会改革の課題」について、全国的に広がる議会改革の取り組み状況を始め、分権化や住民との関係など、これからの議会に求められる役割について講演を受けた。また、ジャーナリストの

議会中継をインターネットでも配信！



8月1日に開催された議会改革委員会の協議の結果、第4回定例会（9月）から、役場庁舎で放映していた議会の生中継をインターネットでも配信を始めた。

議会の開会中に町のホームページを開いて「議会中継」を選び、再生ボタンをクリックすると中継がスタートする。公民館等の公共施設のパソコンからも閲覧が可能。

県町議会議員研



▲廣瀬氏による講演のようす

長谷川幸洋氏からは「激動する政局の行方」について、政府審議会委員等の要職を歴任した自身の経験等から、今後の国政の状況等についての講演を受けた。